

⑤ タワークレーン(VR)

体感型VRシミュレーター

タワークレーンの操縦訓練を目的に開発されたソフトウェアです
クレーンを操作する**オペレータ**と操作合図をする**玉掛合図者**の2人で協力してシミュレーションを進めます。

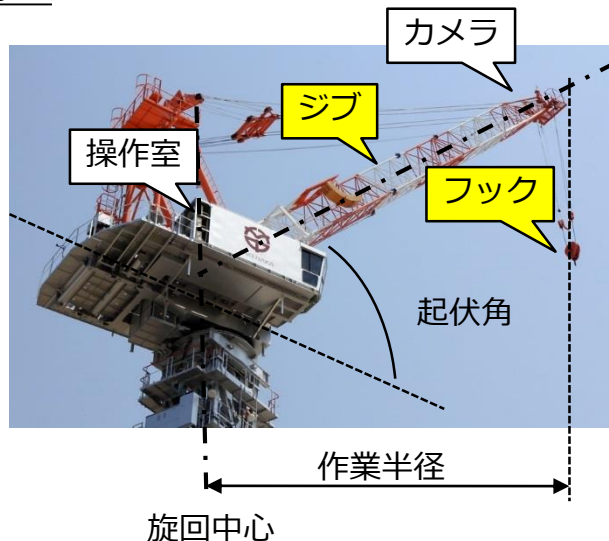
「玉掛け(たまかけ)とは、ワイヤーロープなどで荷物をクレーンのフックに掛ける作業です。」

① VR(バーチャル・リアリティ)とは？

現実・実物ではないが機能としての本質は同じであるような環境をコンピューターを用いて人工的に作り出し、あたかもそこにいるように感じさせること

② タワークレーンって？

荷物を吊り、移動させるクレーンの中で、高層ビルや大型建造物の建設に欠かせないのがタワークレーンです



③ 操作用語

- ・「ゴーヘイ」 ↑
吊り上げ開始を意味する合図です
go ahead から転じたといわれています
- ・「スラー」 ↓
ゴーヘイの逆で、巻き下げ開始の場合に使う合図です
slack away から転じたといわれています

④ 操縦装置

左右のレバーを傾けて操縦します
傾き度合い(ノッチ)で動くスピードが変わります

- ・ **左側レバー：ジブの操作**
前：ジブが伏せ、作業半径が大きくなります
後：ジブが起き、作業半径が小さくなります
左右：レバーを倒した方向に旋回します
- ・ **右側レバー：フックの操作**
前：フックを巻き上げます
後：フックを巻き下げます



左側レバー
(ジブの操作)



右側レバー
(フックの操作)

⑤ シミュレーションの流れ

操作は合図者の指示で行います

1. ジブを「旋回・起伏」して、フックを開始位置の上空まで移動します
2. 吊り上げ可能位置までフックを「巻き下げ」ます
3. 玉掛者が荷物をフックに取り付けます
「玉掛けヨシ」 … 安全に荷物を吊る準備ができた合図です
4. フックを「巻き上げ」ます
5. 旋回・起伏操作を調整して、荷物を目標位置へ運びます

実際の操縦と同様に、オペレータと合図者の**確認の繰り返し**で作業を進めます
吊り上げられた荷物は大きく揺れるので**急な操作は厳禁**です
ご安全に！